

ピースズ

PIECES 3

WILD WET QUEST

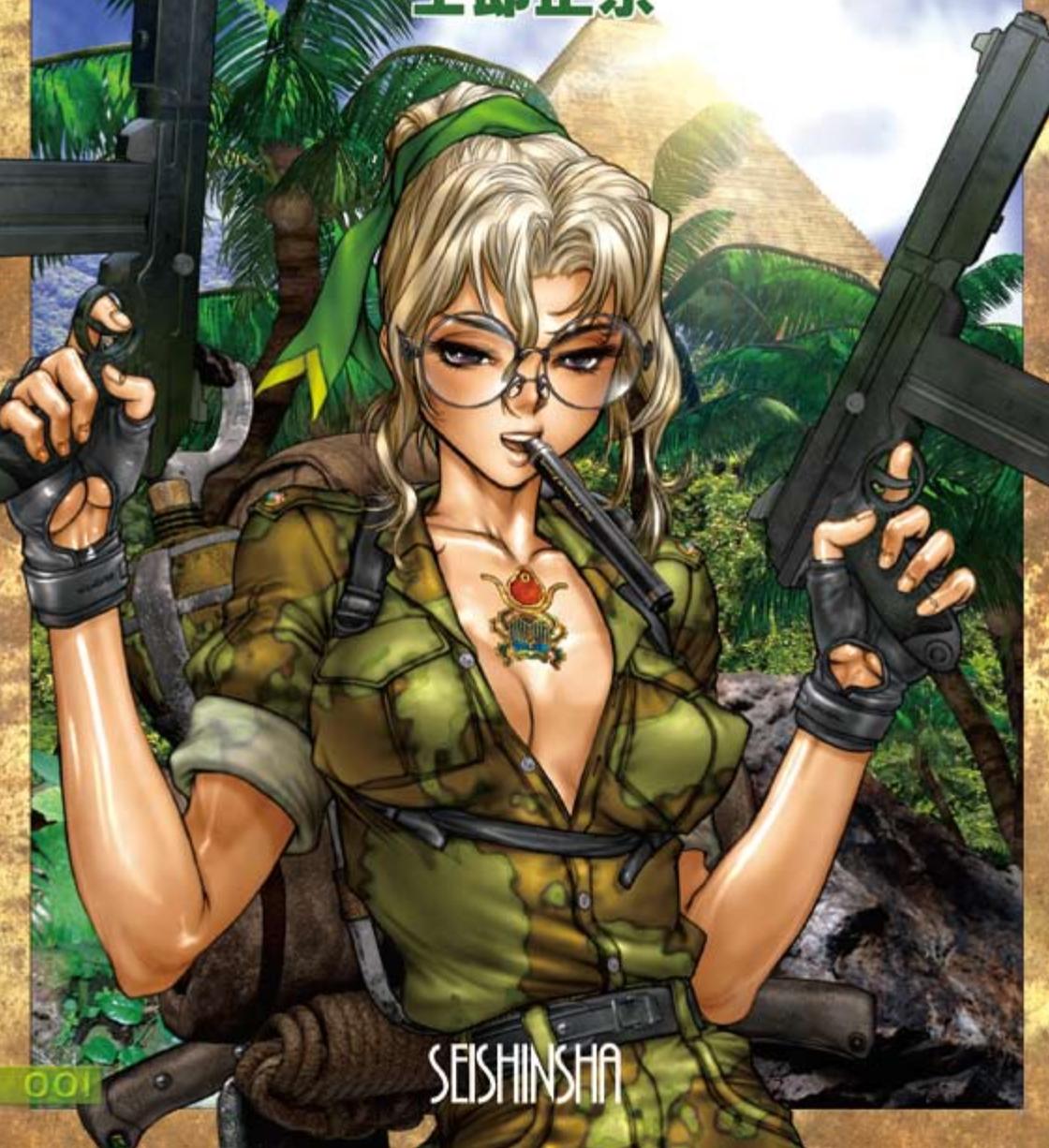
士郎正宗



これは無料の立ち読み版
です。本文 88 ページ中、
9 ページだけを抜粋して
掲載しました。

PIECES 3

士郎正宗



001

SEISHINSHA



ファラ・リゼル・オリンは19歳になっ
たばかりの王立女学院生。上流階級では
ないが良家の子女である。幼少の頃から
「軍人で海外赴任の多かった父親」に、
インドやアフリカの話や寝物語に聞かせ
てもらっていたせいか、冒険小説や古代
文明に強い興味を持っており、女学院に
おいても図書資料室に入り浸っているこ
とが多い。彼女にとって幸いなことに、
女学院の創立者が「かつて中世頃からこ
の地を治めた貴族の末裔」で、古代の書
物や黒魔術本の収集家でもあった為に、
図書資料室にはかなりの奇書が所蔵され
ているのだ。勿論一般学生はそういつた
稀覯本のある特別図書所蔵室には出入り

できないのが通常だが、たまたま司書の
一人が病気になって人手不足だった為に
ファラに鍵東が渡されることになる。

何かしら
鍵が
ありますね

あれ？
錠が
の
ので
あ
当
す
ら
い
し
な
い
で
あ
該
無
い
に
し
な
い
気



ANTIQUE GRIFFON







夏休みに入っても帰郷やバイトより図書資料室にすることを選択したフアラは、図書資料室の片隅にある古い本棚の奥に「鍵束に付いた奇妙な形の鍵」に合致する錠が隠されていたのを発見する。鍵と錠は隠し部屋の入り口を開く為のものだったのだ。

隠し部屋の奥で彼女は実在しないと言われていた魔導書の「レメゲルトニア」や「グレンヴィル魔女裁判記録」が厳重に保管されているのを目にする事になる。





ガベル共和国に頼れるホテルや大使館は無い。かつて国連の停戦監視チームが使用していた簡素な施設が廃虚の郊外に取り残されており、彼女はそこで密林用の装備を整える予定。

衛星を使った事前調査では、施設は無人のまま放置されているらしく誰かが使用しているような気配も無かった。現地の人間が気づいていなければ、査察チーム

が押収した武器弾薬なども秘密の金庫に残っている筈だ。勿論、番号や鍵も国連関係者から譲り受けて持って来ている。そういった国際的な人脈は彼女個人由来のものではなく、女学院の教授達や父親

の友人関係からである。古代文明研究に関わる何人かの友人達は皆一様に「治安の極めて悪いガベルでの現地調査などやめておけ」と当然の警告をしたのだが、

夢枕にこの世のものではない生き物？が尋ねてきたファアラに選択の余地は無い。そうでなくても現地を訪れてみようと思

っていたのだ。こんな機会を何もせず逃すわけではない。普段あまりフィールドワークしないタイプではあったが、一通り（それ以上）の準備はして来たし、こういった活動の経験がこれまでに全く無いわけではない。





ガベル共和国では古い型式の武器類が主流なのだが、この地域は切り立った崖などが多い為か、改造されて原形のわからないカーチスホークもときの複葉機が現役だ。速度が遅い分、かえって厄介だ。通常、こんな所の小隊はこまめに上層部に報告を上げるような事はせず、まず自分達が金目のものを入れたり存分に楽しむのが優先だ。おかげで大規模な部隊に包囲される様な事態にはならないがそのぶんだけ執拗に追跡してくる。呪いの谷の手前で岸壁の横穴に何かしらヒエログリフみたいな文字が刻まれた門のようなものがあったが充分調べる間も無く銃撃で粉砕されてしまう。ファラは門周辺にいた蛇が執拗に絡みついているのを振りほどきながら追跡をかわす。

つづきは書籍版でお楽しみ下さい。

PIECES3 電子無料立読版 無料

『PIECES3 WILD WET QUEST』は、
全国の書店でお買い求めいただけます。

当社直販を希望の方は下記 url へ

<http://www.seishinsha-online.co.jp>

青心社

